

2022年9月吉日

関係各位

公益財団法人黒住医学研究振興財団
理事長 渡邊 治雄

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本財団は前身である「小島三郎記念会」が1965年から始めた顕彰事業を財団法人として設立した1993年に引き継ぎ、さらに2010年7月からは、「公益財団法人」としての認定を受けております。設立されて以来、関係各位のご指導とご支援のもと順調に設立の趣旨に沿ってその目的を果たしてまいりました。

本年度は財団法人として30年目の節目の事業年度となり、これまでの事業が継続・発展することが出来ましたことを皆様に深く感謝申し上げます。

これを記念いたしまして本年度より「顕彰事業」である三つの賞「小島三郎記念文化賞」、「小島三郎記念技術賞」、「福見秀雄賞」の副賞金を増額いたしました。

また、「研究助成事業」では、今回のコロナ禍により健康危機管理の重要性が指摘されましたことから対象領域として「感染危機管理」を新設し、2022年度・2023年度の2年間の時限付きではありますが、助成金の総額を増額いたしました。

さらに、「学術講演事業」として「感染症研究の温故知新」をテーマとして「創立30周年記念特別学術講演」をWeb配信として企画いたしました。視聴期間は2022年10月1日～10月31日となっておりますので、是非、ご視聴いただけたらと存じます。

本財団の目的は、臨床検査、衛生検査、及びこれらに係わる基礎医学に対する研究助成、並びに研究業績に関する顕彰などの事業を行うことにより、社会に積極的に貢献し、国民の健康と福祉の向上に寄与することであり、今後もより一層精進して参ります。

関係各位におかれましては今後とも倍旧のご指導とご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

謹白